

我が国科学技術の失速の原因と復活の処方箋

—我が国の未来に向けた科学技術政策の再確立を目指して—

我が国科学技術の現状を見ると、国際的に見た学術論文数の質量低下にみられる研究力の劣化、IT産業の低迷にみられる基盤的な産業技術力の衰退等、科学技術の失速を裏付ける兆候は枚挙に暇がない。これらの現象は20年に及ぶ経済の低迷と密接に関連しており、我が国の未来を構築する上で深刻に受けとめるべき問題である。一方、近年、経済成長のみならず社会的課題の解決に果たす科学技術の役割がクローズアップされる等、科学技術政策のスコープは拡大、多様化しつつある。これらの問題の重大性に鑑み、科学技術政策の今後の在り方について、長期的かつ根本的な視点から問題意識や解決策を巡る認識の共有を図り、政府への政策提言や、国民の科学技術政策への関心を高めることを目的として議論を行う。

本シンポジウムは、政策研究大学院大学(GRIPS) 政策研究院にて科学技術政策研究プロジェクトとして、5年目を迎えた活動を踏まえ、その集大成として論点提示を行い、今後の在り方の問題提起を行う。

SYMPOSIUM PROGRAM - 2019/12/26

- 12:15-13:00 開場 (全体総合司会: 下田隆二 東京工業大学名誉教授)
13:00-13:10 開会挨拶 (角南 篤 本プロジェクト代表、GRIPS学長特別補佐)
13:10-13:30 プロジェクト報告及び問題提起 (今村 努 コーディネーター)

Session 1 - 「我が国科学技術システムの課題」

- 13:30-13:40 モデレーターによる論点の提示
田中和哉 GRIPS政策研究院リサーチ・フェロー
13:40-14:40 パネルディスカッション
パネリスト
狩野光伸 岡山大学副理事・教授 (外務大臣次席科学技術顧問)
黒川 清 GRIPS名誉教授、政策研究院シニア・フェロー
橋本和仁 国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長
中村道治 国立研究開発法人科学技術振興機構顧問
ディスカッサント
有本建男 GRIPS客員教授、国立研究開発法人科学技術振興機構首席フェロー
14:40-14:50 休憩

Session 2 - 「科学技術人材の課題」

- 14:50-15:00 モデレーターによる論点の提示
根本紘志 特定非営利活動法人STeLA Japan
15:00-16:00 パネルディスカッション
パネリスト
安宅和人 慶應義塾大学環境情報学部教授、ヤフー株式会社CSO (チーフストラテジーオフィサー)
生田知子 文部科学省高等教育局大学改革官
堀井秀之 i.schoolエグゼクティブ・ディレクター、日本社会イノベーションセンター代表理事
ディスカッサント
杉浦好之 GRIPS政策研究院リサーチ・フェロー

Session 3 - 「科学技術政策にかかわる議論の場の設定」

- 16:00-16:10 モデレーターによる論点の提示
小山田和仁 国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センターフェロー
16:10-17:10 パネルディスカッション
パネリスト
岸村顕広 九州大学大学院工学研究院応用化学部門准教授、日本学術会議若手アカデミー代表
小出重幸 日本科学技術ジャーナリスト会議 (JASTJ) 理事
國分俊史 多摩大学大学院教授/ルール形成戦略研究所所長
佐藤文一 内閣府政策統括官付 (科学技術・イノベーション担当) 審議官
林 隆之 GRIPS教授
ディスカッサント
下田隆二 東京工業大学名誉教授
17:10-17:20 議論のまとめ
17:20-17:30 閉会挨拶 (石田寛人 GRIPS政策研究院参議)
17:45 交流会 (GRIPS内 別会場)

(※ 調整中のため、登壇者に若干の変更の可能性あり)

シンポジウム参加申込

Webにて要事前申込 → <http://www.grips.ac.jp/jp/events/20191126-6205/>

(満席の場合は抽選をすることがあります)



2019
12/26
(木)午後

GRIPS
想海樓ホール

参加費無料
(交流会500円実費)